

“コカ・コーラ ゼロ” 鈴鹿8時間耐久ロードレース 決勝レース181LAPS、36位完走!

7月22日(木)～7月25日(日)、二輪整備同好会は今年も「真夏の祭典」QTEL FIM世界耐久選手権シリーズ第3戦“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース(以下、鈴鹿8耐)に出場しました。

昨年に引き続き、経験豊富な古澤基樹選手、浜口喜博選手をライダーに起用し、決勝レース進出と200周以上での完走を目標として、単独参戦4年目である今年には学生が「自立」・「効率」をテーマに設定し、限られた時間の中で、昨年同様レース本番用のエンジンの分解・組み立てやピットルーティーンの練習など積極的に取り組み高いモチベーションでレースウィークを迎えました。今年の8耐も学生・チームにとってはレースの楽しさと厳しさを改めて認識できたレースとなりました。あいにくのアクシデントにより目標の200周には及びませんが

したが、残りの時間で180周を越えることにより200周という目標が充分自分たちにも手に届くという手応えを感じることが出来ました。またレース前に立てたテーマを全員で意識し、様々なことにチャレンジした姿勢や、転倒した車両を修復し、レースに復帰させるという経験ができたことで、「限られた時間の中で、最高の結果を求め、自ら考え、行動する」という実践力を身につけるという意味では最高の教育の場となりました。

今後は今回のレースで得た経験を学生ならではの創意工夫で継承し、ノウハウとして積み上げることで毎年チームとしての実力を上げていくことと、来年の鈴鹿8耐に向けより一層のスキルアップを目指し頑張っていきます。

スポンサー並びに関係各位の皆様、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

ライダー紹介

第1ライダー

古澤 基樹 (フルサワ モトキ)

<鈴鹿8耐の戦歴>
 2007年 鈴鹿8耐 **総合30位**
 2008年 鈴鹿8耐 **決勝リタイヤ**
 (予選28位 2'13'952)
 2009年 鈴鹿8耐 **決勝総合21位**

第2ライダー

浜口 喜博 (ハマグチ ヨシヒロ)

<鈴鹿8耐の戦歴>
 2007年 鈴鹿8耐 **予選不通過**
 2008年 鈴鹿8耐 **決勝総合44位**
 2009年 鈴鹿8耐 **決勝総合21位**



●サイクルスポーツ同好会

シマノ鈴鹿ロードレースに参戦

サイクルスポーツ同好会では、8月28日(土)～29日(日)、毎年恒例の国内最大級のサイクルスポーツイベント「シマノ鈴鹿ロードレース」に参加しました。今年の参加者は6名。3年生1名・2年生4名・1年生1名で、3年生の西山くんは2年ぶりの参加。2年生は昨年参加の4名で、去年の悔しさをばねに走り込みをしてきました。1年生の西村くんはレース初参加です。



フレッシュな1年生、全員で来年再チャレンジ

レースは2日間とも猛暑で、早朝から気温が高く、ウォーミングアップをするだけで汗だくになりました。結果は、開発科2年生の水間くんがピットロードの坂を全力で駆け上がる「最高速チャレンジ」で平均時速50.96km/hで優勝しました。また開発科2年生の増谷くんが昨年に引き続きインターメディアイトクラスで6位入賞を果たしました。2日間で合計21種目に参加し、好成績を収めた者も、そうでない者も来年の再チャレンジを心に決めました。

「ホンダテクニカルカレッジ関西」チーム 優勝・「HEVC」チーム 2位入賞

四国EVラリー2010

8月21日(土)～8月22日(日)、愛媛県産業技術研究所を主会場に愛媛県内で開催された「四国EVラリー2010」にEV同好会が「ホンダテクニカルカレッジ関西(二輪:ズーマー改造)チーム」(カテゴリー:2-1)と「HEVC(四輪:バギー改造)チーム」(カテゴリー:2-3)で参加しました。

「ホンダテクニカルカレッジ関西」チームは初日チェックポイントの、浄土寺・繁多寺・ふたみシーサイド公園・風早の郷 風和里・かわら館をクリアし、順調にポイントを増やしました。また、2日目は、ひめぎんホール・ふたみシーサイド公園・長浜大橋をクリアし、2日間合計の走行距離234km、232ポイントでカテゴリー優勝しました。

「HEVC」チームは初日、松山市総合コミュニティセンター・松山空港・四国電力 松山支店・民芸伊予かすり会館をクリアし、2日目、浄土寺・ひめぎんホール・愛媛県武道館でポイントを増やしましたが、2日合計の走行距離93km、99ポイントとなり、1位との差が171ポイント及ばず2位となりました。バギー改(4輪)は昨年の0ポイントから大きく改善する事が出来たが、競争力の高いマシンを製作することが来年度への課題となりました。



●学生レポート/オフロード同好会 一級自動車整備研究科4年 氏家貴司くん JMX名阪でチームハマーのメカニックで参戦

9月11日(土)～9月12日(日)、名阪スポーツランドで行われました「全日本モトクロス選手権」にTEAM HAMMERのメカニックとしてオフロード同好会が参戦しました。

実際にレースの現場でプロライダーが乗る車両を緊張感を持って整備し、レース中はチーム一丸となって選手に声援を送りました。

レース全体を通してマシントラブルもなく無事ゴールを迎えた瞬間は達成感で一杯になりました。また、今回はプロのメカニックと一緒に活動する事で技術の高さや整備に対する厳しさを体感する事が出来ました。この貴重な体験を今後の学園生活に活かしたいと思っています。



●野球同好会 第21回 関西専門学校軟式野球選手権大会

8月23日(月)～9月1日(水)、大阪の南港中央野球場で行われました「第21回 関西専門学校軟式野球選手権大会」に野球同好会が参加しました。

8月24日(火)第1回戦は大阪保健福祉専門学校(以下、保健福と表記)と対戦。3回表、先攻保健福が2点を取ると、その裏で本校が3点を取り一気に逆転。緊張感のある試合運びの中1点リードで向かえた6回表、一挙に7得点をゆるして、一転追いかける側に。結局6回裏無得点のまま、大会規定の1時間45分を経過しゲームセット。残念ながら1回戦で敗退しました。



●学生レポート/ラジコン同好会 自動車整備科2年 大石 健太くん 京商ミニッツカップ神戸大会に参戦

9月26日(日)、京商ミニッツカップ神戸大会に参戦してきました。大会に参加したメンバーは、会長大石以下、小栗、伊藤、加久、奥の5名です。今回の大会は、関西代表を決定するレベルの高いレースです。同じレギュレーションの、マシンでも私達のマシンは2年前の物で、性能的には劣ります。腕の差はもちろんのこと、全員が初参加ということで、緊張もあり、初めてのコースに悪戦苦闘しました。今回は全員がフレッシュマンクラスに参加しましたが、残念ながら予選通過のトップ21位以内に残る事ができませんでした。今回の教訓を生かし、マシンメンテナンスと、練習を重ね来年の大会での決勝進出を目指して活動を継続していきたいと思っています。



●学生レポート/エコラン同好会 自動車整備科2年 伊井拓也くん Honda エコマイレッジ チャレンジ2010全国大会 20位・29位・43位

エコラン同好会は10月9日(土)～10月10日(日)、栃木県茂木町のツインリンクもてぎで開催された「第29回 本田宗一郎杯 Hondaエコマイレッジ全国大会」に参加しました。全国大会は2日間の日程で、1日目は練習走行、2日目に本戦が行われます。練習走行ではあいにくの雨模様となり、一時は激しい雨も降りました。エコランの車両はワイパーがないため、雨は想像以上にドライバーの視界を奪います。僕自身も今回ドライバーとして参加しましたが、何度も目の前の車両に追突しそうになったり、走行ラインを外れそうになりました。そんな悪いコンディションの中でも、無事に練習走行を終えました。しかし本戦直前にマシントラブルが発覚しスタート直前まで調整に追われましたが、チーム一丸でトラブルに対応し3台共本戦をむかえる事が出来ました。そしてスタート後は大きなトラブルも無く、3台共完走する事が出来ました。今回は残念ながら表彰台こそ逃しましたが今年の経験を糧に1年生は来年に向けて活動していきます。



ボランティア44名参加



今大会の運営スタッフとして44名の学生がボランティアで参加しました。関西校の学生は、全員車検スタッフという重要な仕事を担当することになりました。本戦がスタートする直前、降っていた雨が上がり、強烈な日差の中、大会はスムーズに進行しました。屋外で作業するスタッフにとっては、過酷な状況となりましたが無事に全ての競技が終了いたしました。大会事務局の担当者の方からも、高い評価をいただきました。

退任の挨拶



教務部
自動車研究開発科
星原 和明
整備の現場で培ってきたノウハウを伝えたい想いで、出来るだけ解りやすい授業を心掛けてきました。学生諸君は将来プロの世界で生き抜いていく為にも、この学園でしっかり学び技術を習得して下さい。退任は残念ですが大変お世話になりました。ありがとうございました。

新任の挨拶



事務学生部
学生課
高橋 徹
9月1日付けでホンダコムテックより学生課に赴任いたしました高橋です。2輪4輪汎用の営業経験を生かし次世代の担い手である皆様の成長に少しでもお手伝いできればと思っていますので、よろしくお願い致します。